

科目名	低所得者に対する支援と生活保護制度					単位	2.0
担当教員	林 博幸						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	2	授業番号	5409

●授業のテーマ

貧困問題対策と生活保護制度

●到達目標

貧困・低所得問題をとらえる視点と問題の実態を学び、社会制度による対策の意義や歴史、今日の仕組み、支援のあり方を理解する。

とくに公的扶助（生活保護制度）について、一連の基礎知識を習得し、国民にとって「最後のセーフティネット」と称される制度として果たすべき役割をつかむ。

●学習内容（授業概要）

貧困・低所得問題は社会保障・福祉が対象とする問題の底流で大きな比重をもっている。また、今日では、国民の労働・生活に多様な影響をもたらしていることをふまえ、対応する諸制度の意義や仕組みを幅広い視野から考察する。

生活保護制度については、仕組みの基本をおさえつつ、保障する水準や運用の方法に関する新たな見直しの動向や課題も探っていく。

●学習内容（授業計画）

- 1 授業のねらいと概要
- 2 公的扶助の概念
- 3 貧困・低所得者問題と社会的排除
- 4 公的扶助制度の歴史 ①海外
- 5 ②日本
- 6 生活保護制度の仕組み ①目的、原理・原則
- 7 ②保護の種類・内容
- 8 ③被保護者の権利、財政
- 9 最低生活保障水準と生活保護基準
- 10 生活保護の動向
- 11 低所得者対策の概要 ①生活福祉資金、社会手当
- 12 ②ホームレス対策、その他
- 13 生活保護の運営実施体制と関係機関・団体
- 14 貧困低所得者に対する相談援助活動
- 15 生活保護における自立支援

●準備学習・事後学習の内容

準備) テキストに基づく講義なので、該当する箇所の予習をして臨む。

事後) 各種制度の固有の仕組みについて講義内容を振り返り、正確な知識を身につける。

●成績評価方法・基準

出席状況：3割

期末試験：7割

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：新・社会福祉士養成講座 16 『(第3版)低所得者に対する支援と生活保護制度—公的扶助論』、著者名：社会福祉士養成講座編集委員会、出版社：中央法規、販売先：Yショップ

●参考文献／その他

授業時に紹介する。

●履修上の注意

生活保護制度は、他の制度（貸金、年金、サービスの利用者負担など）との関連をもっているため、国民生活にみられる貧困・生活困難の諸現象について広く関心をもって学習してほしい。